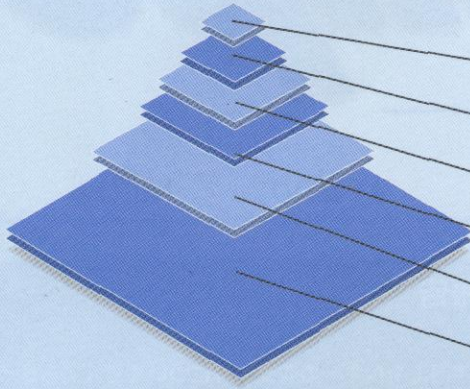


平成18年度 決算のご報告

業界の好況を受けて被保険者数の増加等により保険料収入が前年度対比約8,878万円の増収、一方で支出も医療費(保険給付費)が約8,427万円および拠出金等が約2億9,536万円の増加を見ましたが、経常収支では約3億3,450万円の黒字となり昨年度に引き続き好決算となりました!

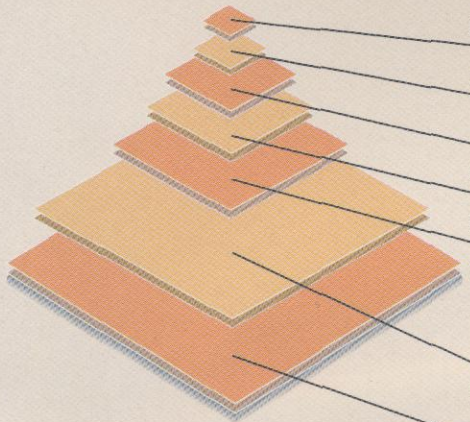
収入合計 3,833,721千円



※国庫負担金収入	2,868千円
※雑収入	39,605千円
財政調整事業交付金	49,541千円
調整保険料	54,009千円
繰越金	152,575千円
※健康保険料	3,535,123千円

※は経常収入

支出合計 3,297,104千円



※その他	2,838千円	
※積立金	4,650千円	
財政調整事業拠出金	53,977千円	
※事務費	69,042千円	1.95%
※保健事業費	127,803千円	3.62%
※拠出金合計	1,317,110千円	37.26%
老人保健拠出金	760,530千円	21.51%
退職者給付拠出金	556,580千円	15.74%
※保険給付費	1,721,684千円	48.70%
(医療費・現金給付費)		

※は経常支出 内の数字は保険料収入に占める割合です。

決算残金 536,617千円
経常収支差引額 334,469千円

介護保険分の決算

介護保険の納付金は全額を国庫に納付し、運営者である全国の市区町村に配分されています

収 入		
科 目	決 算 額	※被保険者1人当たり
介護保険収入	217,131千円	69,062円
繰越金	11,277千円	3,587円
雑収入	8千円	2円
合 計	228,416千円	72,651円

支 出		
科 目	決 算 額	※被保険者1人当たり
介護納付金	227,155千円	72,250円
介護保険料還付金	50千円	16円
積立金	1,211千円	385円
合 計	228,416千円	72,651円

※介護保険納付被保険者の1人当たり額です。

決算のあらまし

■決算残金約5億3,662万円、経常収支では約3億3,450万円の黒字決算となりました

平成18年度の取支決算と事業報告が過日開催の組合会で承認されましたので、別掲のとおり決算の概要をご報告いたします。収入総額約38億3,372万円（前年度約35億9,389万円）、支出総額約32億9,711万円（同約28億8,605万円）で、収支差引約5億3,662万円（同7億784万円）の決算残金となりました。

ただし、収入の中には財政調整事業交付金や繰越金などが含まれていますので、これらを除いた実質的な経常収支差引額は約3億3,447万円（同約6億3,043万円、16年度約4億7,566万円）と好決算で推移しています。

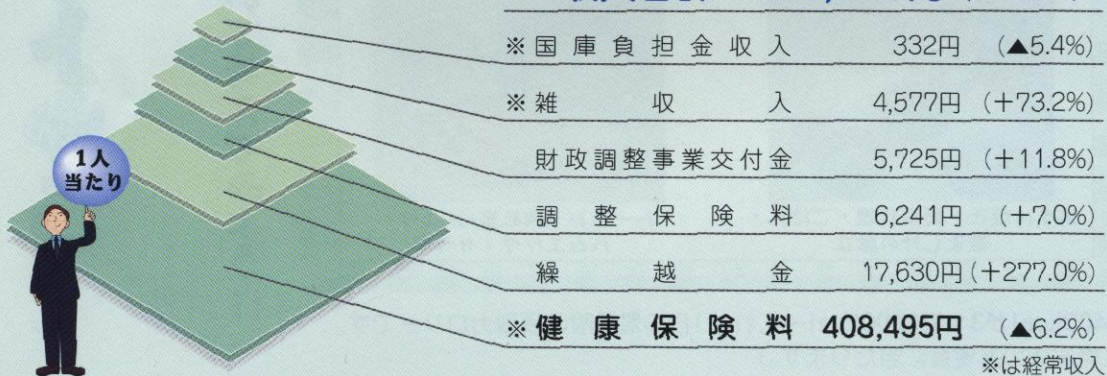
■医療費、拠出金等も上昇しています

本決算の主なポイントは、保険料収入が業界好況などを反映して被保険者数および標準賞与額等の伸びにより、約35億3,512万円（前年度約34億4,634万円）で前年度より約8,878万円の増収となりました。

その反面支出においては、医療費（保険給付費）が約17億2,168万円（同約16億3,742万円）で約8,427万円の増加、さらに拠出金等は約13億1,711万円（同約10億2,175万円）で約2億9,536万円の増加となり、それぞれ増加傾向を見せています。

被保険者1人当たりでみる決算額（％は前年度対比 ▲は減 +は増）

収入合計 443,000円 (▲2.5%)



支出合計 380,992円 (+4.5%)

